

改正気象業務法(令和8年5月29日)に対応した 大鹿村地域防災計画(令和8年3月策定) の変更箇所

変更概要

河川氾濫・大雨

- 洪水予報河川では、新設する河川氾濫の特別警報をレベル5 氾濫特別警報とし、(発表には、河川管理者の氾濫通報を活用)
- 水位周知河川では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実を図る。
- その他河川・下水道では、氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実を図る。
- 洪水警報は、運用せず、大雨の予報・警報と一体化。(レベル4 大雨危険警報を新設)

土砂災害

- 警戒レベル4相当は、現在の土砂災害警戒情報からレベル4 土砂災害危険警報に変更。
- 警戒レベル4相当に至らないレベル3 土砂災害警報発表を大幅に削減
- レベル3 土砂災害警報発表時は、まもなくレベル4 土砂災害危険警報を発表する可能性大。

共通

- 情報名称にレベルの数字をつけて発表。
- レベル2では「注意報」、レベル3では「警報」と統一感を持った名称へ。

カテゴリーごとの変更内容 ※大鹿村において想定されない災害は省略しています。

●新しい防災気象情報

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	氾濫発生情報	レベル5 氾濫特別警報	「情報」から「危険警報」への変更
変更	大雨特別警報	レベル5 大雨特別警報	
変更	土砂災害特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	
変更	氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険警報	「情報」から「危険警報」への変更
変更	大雨危険警報	レベル4 大雨危険警報	
変更	土砂災害警戒情報	レベル4 土砂災害危険警報	「情報」から「危険警報」への変更
変更	氾濫警戒情報	レベル3 氾濫警報	
変更	洪水警報 大雨警報	レベル3 大雨警報	
変更	土砂災害警報	レベル3 土砂災害警報	
変更	氾濫注意情報	レベル2 氾濫注意報	「情報」から「危険警報」への変更
変更	洪水注意報 大雨注意報	レベル2 大雨注意報	
変更	土砂災害注意報	レベル2 土砂災害注意報	

<令和8年5月29日～>

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	命の危険直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----				
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	避難に時間を要する人は早めに 避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	避難行動を確認（避難場所や 避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報			災害への心構えを高める

●河川氾濫等に関する情報(洪水予報河川)

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	氾濫発生情報	レベル5 氾濫特別警報	
変更	氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険警報	
変更	氾濫警戒情報	レベル3 氾濫警報	
変更	氾濫注意情報	レベル2 氾濫注意報	

●河川氾濫等に関する情報(洪水予報河川・水位周知河川以外の河川も含む洪水警報等)

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	—	レベル5 大雨特別警報	
変更	—	レベル4 大雨危険警報	
変更	洪水警報	レベル3 大雨警報	
変更	洪水注意報	レベル2 大雨注意報	

●大雨に関する情報

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	大雨特別警報 (浸水害)	レベル5 大雨特別警報	内水氾濫に加え、洪水予報河川以外の外水氾濫についても対象にする。 このため、発表基準に流域雨量指数の基準も加える。新たにレベル4相当の情報(レベル4 大雨危険警報)を新設。
新規	—	レベル4 大雨危険警報	
変更	大雨警報(浸水害)	レベル3 大雨警報	
変更	大雨注意報(浸水害) ※警戒レベル相当情報としての位置づけなし	レベル2 大雨注意報	

<令和8年5月29日～>

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む洪水警報等	
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、警戒レベルとの関係は変更しない。 当面は、大雨に関する情報でも扱う。 [洪水予報河川への移行を促進]	大雨に関する情報で扱う。	—
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位(実測・予測)			表面雨量指数・流域雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5	レベル5 大雨特別警報		レベル5 大雨特別警報
	4	レベル4 大雨危険警報		レベル4 大雨危険警報
	3	レベル3 大雨警報		レベル3 大雨警報
	2	レベル2 大雨注意報		レベル2 大雨注意報
	1	早期注意情報		早期注意情報

●土砂災害に関する情報

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	大雨特別警報 (土砂災害)	レベル5 土砂災害特別警報	土砂災害の発生確度がより高い状況を示す情報として発表基準を設定します。60分雨量(解析・予測)を追加します。
変更	土砂災害警戒情報	レベル4 土砂災害危険警報	発表基準の設定方法は従来と同様です。今後も基準値の検証を継続的に実施し、適宜改善を図ります。
変更	大雨警報 (土砂災害)	レベル3 土砂災害警報	警戒レベル4相当情報の基準(レベル4基準)に到達すると予想される時刻からのリードタイムを3時間(4~6時間先にレベル4基準に到達すると予想が可能な場合にも発表)確保して発表します。60分雨量(解析・予測)を追加します。
変更	大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	雨による土砂災害への注意を広く呼び掛ける情報として、発表頻度やレベル4基準に到達するまでのリードタイムを考慮しつつ、災害捕捉率や発表頻度が現行の注意報と同等となるように発表基準を設定します。60分雨量(解析・予測)を追加します。

<令和8年5月29日~>

発表指標		60分雨量(解析・予測) 土壌雨量指数(解析・予測)
情報名称	5	レベル5土砂災害特別警報
	4	レベル4土砂災害危険警報
	3	レベル3土砂災害警報
	2	レベル2土砂災害注意報
	1	早期注意情報

●警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更なし	—	—	特別警報（暴風、大雪、暴風雪） 警報（暴風、大雪、暴風雪） 注意報（強風、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪）

●気象情報の体系整理

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	顕著な大雨に関する気象情報	〇〇県気象防災速報（線状降水帯発生）	府県気象防災速報のみのため、現行の顕著な大雨に関する気象情報で発表していた地方・全般の情報では発表されなくなります。
変更	記録的短時間大雨情報	〇〇県気象防災速報（記録的短時間大雨）	
新規	—	〇〇県気象防災速報（線状降水帯直前予測）	
変更	顕著な大雪に関する気象情報	〇〇県気象防災速報（短時間大雪）	
変更	竜巻注意情報	〇〇県気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）	

●解説情報の体系整理

	変 更 前	変 更 後	備 考
変更	線状降水帯半日前予測を記載した全般/地方/府県気象情報	全般/地方/府県気象解説情報（線状降水帯半日前予測）	気象防災速報に位置付けるものを除く
変更	全般台風情報（総合情報）	全般/地方/府県気象解説情報（台風第〇号）	
変更	大雨に関する全般/地方/府県気象情報	全般/地方/府県気象解説情報（大雨）	気象防災速報に位置付けるものを除く

●その他の変更箇所

早期注意情報の変更

令和8年出水期からは、これまで大雨に含めていた土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表します。さらに、明後日までを対象とした情報の時間幅を次のとおり変更します。

- ・明日までは、12時間または18時間の時間幅で発表していたものを6時間の幅で発表
- ・明後日については、1日の時間幅であったものを午前・午後に分けて発表

時系列情報(明日までの警報等の見通し)

- ・令和8年度の新たな防災気象情報の運用開始に合わせ、新たに「時系列情報（明日までの警報等の見通し）」を提供します。
- ・時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを二次細分区単位（＋山地等の分割地域）で提供する予測情報です。
- ・警報・注意報の発表に関わらず、時系列情報の対象とする全要素※について、翌日までの3時間毎または日毎の気象状況の見通しを、毎日4回（05時、11時、17時、23時）提供します。
※対象要素：大雨、土砂災害、風、雷、乾燥、大雪、融雪、濃霧、着氷、着雪、なだれ、低温、霜（下線部の要素は日毎の見通しを提示）
- ・気象庁ホームページでは常時表示、定期的に更新（上記の4回）
- ・定期的な更新以外にも、当初の想定から今後の見通しが大きく変わった場合などには、必要に応じて臨時に修正情報を発表
（気象庁ホームページの時系列情報も更新）

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

- ・確度の高い直前の予測
〇〇県北部などの一次細分区単位で線状降水帯となる2～3時間前を目標に予測
- ・線状降水帯予測マップ
線状降水帯となり、災害をもたらす大雨のおそれがある大まかな領域を2～3時間前を目標に図情報で表示

大鹿村地域防災計画内の表の差し替え

P168「配備動員基準」表

第3節 非常参集職員の活動

4 災害警戒本部

(1) 災害警戒本部、地震災害警戒本部の設置基準

(イ) 風水害等発生時の配備動員基準

種類	本部	動員基準	配備職員	活動内容
注意体制	通常業務内 (本部ではない)	1 <u>(レベル3)</u> 気象警報(大雨等)が発表され、被害の発生が予測されるとき。	時間外の場合、宿日直者の他、保安要員 〔総務課長 行政係長 産業建設課長〕	1 気象情報の収集及び伝達
第1配備体制	災害警戒本部 設置	(次の事項の1以上に該当する場合) 1 <u>(レベル3)</u> 気象警報(大雨等)が発表され、被害の発生が予想されるとき。 2 <u>レベル4土砂災害危険警報</u> が発表され、被害の発生が予想されるとき。 3 住民に対し高齢者等避難が発令されたとき。 4 災害の発生のおそれがあるとき(小規模)。	各課課長 総務課行政係長 教委事務局長 授産所長 会計管理者 消防団長 ※状況に応じ、地区担当職員、その他職員を招集	1 気象情報の収集及び伝達 2 <u>土砂災害に関する情報</u> の収集及び伝達 3 災害情報の収集及び伝達 4 避難所設置の準備 5 災害対策本部設置の準備
第2配備体制	災害対策本部 設置	(次の事項の1以上に該当する場合) 1 大鹿村に <u>(レベル5)</u> 大雨、暴風、大雪、暴風雪の各特別警報が発令されたとき。 2 大鹿村若しくは隣接市町村に <u>気象防災速報(記録的短時間大雨)</u> が発令されたとき。 3 住民に対し避難指示が発令されたとき。 4 大鹿村村域に大規模な災害が発生した場合及び大規模な災害が発生するおそれがあるとき。 5 村長が配備を指示したとき。	全職員 消防正副団長	1 被災状況等の収集及び伝達 2 災害対策本部各部・班事務分掌事項を実施

P133「(大鹿村の)警報・注意報発表基準一覧表」

特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表

令和8年5月28日現在
発表官署 長野地方気象台

大鹿村	府県予報区	長野県		
	一次細分区域	南部		
	市町村等をまとめた地域	下伊那地域		
特別警報	レベル5大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね30個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合	
	レベル5土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-1の基準値以上となる1km格子がおおむね10個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合	
	レベル5高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位		
	暴風	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風と同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合		
	暴風雪	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合		
	大雪	府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合		
	波浪			
危険警報	レベル4大雨	表面雨量指数基準	別紙1-3の対象格子において別紙1-1のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1-4の対象河川の格子において別紙1-2のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル4土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合(おおむね2時間先までに基準値に到達することが予想される場合に発表)	
	レベル4高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位		
警報	レベル3大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合	
		複合基準 ^{*1}	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル3土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合(おおむね3～6時間先に基準値に到達することが予想される場合に発表)	
	レベル3高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位		
	暴風	平均風速	17m/s	
	暴風雪	平均風速	17m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ20cm	
波浪	有義波高			
注意報	レベル2大雨	表面雨量指数基準	別紙1-1のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合	
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合	
		複合基準 ^{*1}	別紙1-2のレベル2大雨注意報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル2土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-3のレベル2土砂災害注意報の基準値に到達することが予想される場合	
	レベル2高潮	水位(高潮予報区間に限る)又は潮位		
	強風	平均風速	13m/s	
	風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm	
	波浪	有義波高		
	雷	落雷等により被害が予想される場合		
	融雪	1.積雪地域の日平均気温が10℃以上 2.積雪地域の日平均気温が6℃以上で日降水量が20mm以上		
	濃霧	視程	100m	
	乾燥	最小湿度20%で実効湿度55% ^{*2}		
	なだれ	1.表層なだれ:積雪が50cm以上あって、降雪の深さ20cm以上で風速10m/s以上、 または積雪が70cm以上あって、降雪の深さ30cm以上 2.全層なだれ:積雪が70cm以上あって、最高気温が平年より5℃以上高い、または日降水量が15mm以上		
	低温	夏期:平均気温が平年より4℃以上低く、かつ最低気温15℃以下(高冷地で13℃以下)が2日以上続く場合 冬期:最低気温-11℃以下(高冷地で-17℃以下)		
	霜	早霜・晩霜期に最低気温2℃以下		
	着氷	著しい着氷が予想される場合		
	着雪	著しい着雪が予想される場合		
レベル5氾濫特別警報・レベル4氾濫危険警報・レベル3氾濫警報・レベル2氾濫注意報の発表対象となる河川予報区のうち、大鹿村に係る河川予報区名及び基準観測所名		別紙3		

^{*1} 表面雨量指数と流域雨量指数の組み合わせによる基準値を表しています。

^{*2} 湿度は飯田特別地域気象観測所の値。

※別紙1-1,2,3,4,2-1,2,3については、気象庁ホームページを確認してください。